

一般質問

川原 春夫 議員

● 企業会計の導入について

Q 財政改革の再構築と
いう点から、複式簿記・

発生主義に基づく財務諸表
の作成に対する市の取り組
みと進捗状況について

A 公会計のシステムを
変えるだけではなく、
それが将来にわたって戦略
的に意味合いを持つような
システムを組み上げていく
必要がある。困難な問題で
はあるが、そうしたことを
踏まえながら、しっかりと
取り組んでまいりたい。財
務諸表は、平成20年度まで
に基本データを整備し作成
する予定。

● 環境問題（バイオマスタ
ウン構想）について

Q 主に森林の適正管理
という点から、バイオマ

スタウン構想に対する市の
取り組みと進捗状況について

A バイオマスタウン構
想を市全域に広げてい
きたい。新エネルギーの活
用という観点を市の中心的
な考え方に据え、推進組織
の充実を図ってまいりたい。
木質プラスチック製造を事
業化できるよう、原材料の
供給ルート構築について市
の支援を行うことを検討。
環境学習に対する意識の向
上、国・県の強力な支援体
制や民間（企業）の活力を
活かすこと。シンポジウム
の開催等を通して、住民の
皆様との取り組みの推進を
図っていききたい。

● 総武本線（第二東金街道
踏切・弓手踏切）の拡張
について

Q 市当局の踏切拡張の
改善策と取り組みにつ

いて
A 解決していくうえで、
2つの大きな問題点。

①財政的な負担の面、②J
Rの要求である1つの踏切の
拡張はもう1つの踏切の
閉鎖。このことに対する地
域住民の皆様のご理解が必要。
踏切の拡張は、この2点が
条件として整うことが推進
していくうえでの条件であ
るが、今後ともJRに対し
て要望を重ねていく。



弓手踏切

● 通学路対策について

Q 子どもたちの通学路
における安全面に対す
る取り組みについて

A 安全確保のため街灯
の設置、道路周辺の草
刈り、樹木の伐採等、さら
には路面の補修・見通しの
悪いところ等、道路パトロ
ールを強化しながら、区長
さんをはじめ市民の方々の
協力を得て、また教育委員

会とも協議しながら早急に
進めていく。

市川 陽子 議員

● 福祉について

Q 国は、全国の各大学
の医学部に10年ほど、
地域医療に従事する条件で
47都道府県ごとに5人程度
全国約250人の定着増を
想定していますが、市の考
え方と現在の成東病院の対
応状況をお聞かせください。

A 制度の動向に注意し
ながら病院あるいは、
関係市町村で考えていきた
い。医師も5人から常勤2
人増で7人体制となり、今
後医師確保ができる状況に
していきます。

● 生活環境について

Q 白幡スポーツ広場の
近隣住宅において、長
年季節の気候等や風向きに
よって砂埃が家の隙間から
中に入り、洗濯が干せない
等の要望が以前からありま
すが、現状と今後について
お聞かせください。

A 飛砂を抑えるために
行っています。今後の研究
課題として、少しでも飛ば
ないように努力します。

Q 産後一時金の受領代
理制度は、申請手続き
の簡素化を図るもので出
産予定日の約1か月前に家
族の方が申請するだけで、
国民健康保険関係との間で
清算されるものです。今後
の改善策の実施についてお
聞かせください。

A 財政的なバランスを
とるなかで、取り組ん

でいきたいと思います。

Q 産後一時金の受領代
理制度は、申請手続き
の簡素化を図るもので出
産予定日の約1か月前に家
族の方が申請するだけで、
国民健康保険関係との間で
清算されるものです。今後
の改善策の実施についてお
聞かせください。

A 受領代理制度を積極
的に導入する方向で準
備を考えています。また、
国内を対象としてどこで
も受けられるように、本
年度中に実施する予定で
す。

Q 白幡スポーツ広場の
近隣住宅において、長
年季節の気候等や風向きに
よって砂埃が家の隙間から
中に入り、洗濯が干せない
等の要望が以前からありま
すが、現状と今後について
お聞かせください。

A 飛砂を抑えるために
行っています。今後の研究
課題として、少しでも飛ば
ないように努力します。

Q 産後一時金の受領代
理制度は、申請手続き
の簡素化を図るもので出
産予定日の約1か月前に家
族の方が申請するだけで、
国民健康保険関係との間で
清算されるものです。今後
の改善策の実施についてお
聞かせください。